



景観まちづくり研究室
Landscape Architecture and Community Design Laboratory
SHIBATA Lab, Fukuoka University, Since 2005

Project Report

警固公園再整備事業

所在地：福岡市中央区天神2丁目

Location : Tenjin 2-choume, chuo-ku, Fukuoka city

事業主体：福岡市役所住宅都市局
みどりのまち推進部

Project Implementing Body : Housing and City Bureau,
Fukuoka City Hall

種別/規模：近隣公園 / 11382㎡

Category/ Size : Neighborhood Park/ 11382 m²

事業期間：2011-2013年度

Term : 2011 - 2013



2012年12月 改修後の警固公園



ソラリアプラザ3階カフェからの眺め

園内の様子



撮影：高見 公雄

園内の様子





UDCIC「まちなかアートギャラリーxヒツニックin天神」



DESIGNING 2013



→改修後の警固公園では、広くなった中央広場において多くのイベントが行われている 6

夜間の様子





→夜間においても往来する人々や休憩する若者等の姿が多く見られ、冬場にはイルミネーションなどのイベントも行われている

福岡市の警固公園は、西鉄福岡駅ビルに隣接し、道路を挟んで南側には警固神社があるという立地で、1951年にオープンした。もともと和風庭園風の築山や池などが配置されていたが死角が多いため犯罪が多々、リニューアルが計画され、2012年12月に再オープンした。

公園のリニューアルにあたっては福岡県警、福岡市役所、住民、大学が一層に会す「警固公園対策会議」が定期的に開催され、合意形成を図りながらデザインが行われたのだという。同会議に参加し、リニューアルデザインを担当した福岡大学の柴田久准教授によれば、当初は安全安心とデザインがリンクしておらず、柴田氏が会議に参加することになり、やがて全体のデザインを任されるようになったという。

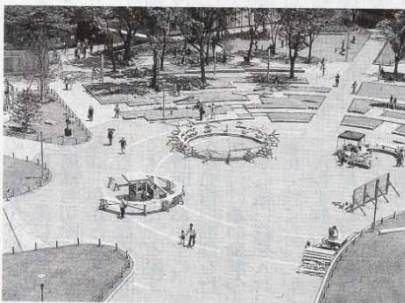
考景 2013

警固公園 (福岡)

福岡在住の若手建築家、井手健一郎氏は、自身が9年間にわたって継続して主宰しているデザインイベント「デザインング」のメイン会場にリニューアルオープンしたばかりの警固公園を指定。5月10・13日、仮設のテーブルやベンチ、カフェ等を設置し、ワークショップやトークイベントを開催した。九州産の足場板を用いて、仲間と一緒に自分たちの手で組み立てたのだという。新しい試みに関係者の合意を取り付けるのに手間取ったが、社会基盤はユーザーが手を出せないものではなく、自らの手で使っていくべきだという。

井手氏に招かれて会場を訪れた私は、都市空間の中心でこのような試みが行われていることに大いに驚いた。公園デザインを担当した柴田氏と、

デザイナーと利用者の対話



イベントを企画した井手氏、同じく九州在住の若手建築家、坂口恭平氏、水谷元氏とともに、警固公園の中心に設置された即席の会場で、オープンスペースのデザインは、いかにあるべきか、ハンドマイクを片手に大いに議論した。

一般的に公園や公共施設は誰がどのような合意のもと、

イベントのため仮設のテーブルやベンチが並べられた警固公園 (5月12日、筆者撮影)

どのような意図をもってデザインしたものであるか、ユーザーが知ることは少ない。またデザイナーもユーザーと直接対話することは少ない。デザイナーが見えなければユーザーの不満もたまり、ユーザーが見えなければデザイナーも応えようがなく、ストレスがたまる。今回のようにデザインを担当した者と、その成果物の魅力を引き出すこととする意欲をもった者が出会い、討議をするような機会が増えれば、日本の都市空間はもっと生き生きとしたものになる。

大勢の注目を浴びながら都市空間を「時的に占有して他人と交流する体験は実に心地よく、終了後に仮設のカフェで飲むビールは最高においしかった。いつかまた討議の続きをやりたい。」

(建築家、東洋大建築学科講師)

文化

建築ジャーナル

12

小学生と高齢者の両方に向けた、安全・安心の空間づくり。定行が「子どもと高齢者」をキーワードとした「安全・安心」の空間づくり。子どもと高齢者、両方に向けた安全・安心の空間づくり。子どもと高齢者、両方に向けた安全・安心の空間づくり。

福岡市の警固公園リニューアルその後の効果は「動線の広がり」と「安全・安心」の向上が確認

都市公園デザイン会議福岡大会で報告

大塚市の警固公園リニューアルの経緯や効果について報告された。リニューアル後の効果として「動線の広がり」と「安全・安心」の向上が確認された。リニューアル後の効果として「動線の広がり」と「安全・安心」の向上が確認された。

子どもの居場所をつくる

福岡在住の若手建築家、井手健一郎氏が、自身が9年間にわたって継続して主宰しているデザインイベント「デザインング」のメイン会場にリニューアルオープンしたばかりの警固公園を指定。

都市+デザイン

32

都市+デザイン

→警固公園がリニューアルするまでのデザインプロセス、整備効果等は読売新聞(全国紙紙面)、建築ジャーナル、都市+デザイン第32号、警察白書(平成25年版特集第5節子供・女性・高齢者を守る総合的な取組)などに記事として掲載

警固公園の立地環境



→警固公園は西鉄福岡天神駅や三越デパート、ソラリアプラザ、RESORA天神などの商業ビルに囲まれ、公園南側には警固神社が立地している

再整備に至る経緯：旧警固公園の問題点



レイプ事件が発生し、立入禁止となっていた築山とウォーターデッキ



ピストバイクによる舗装面の破損

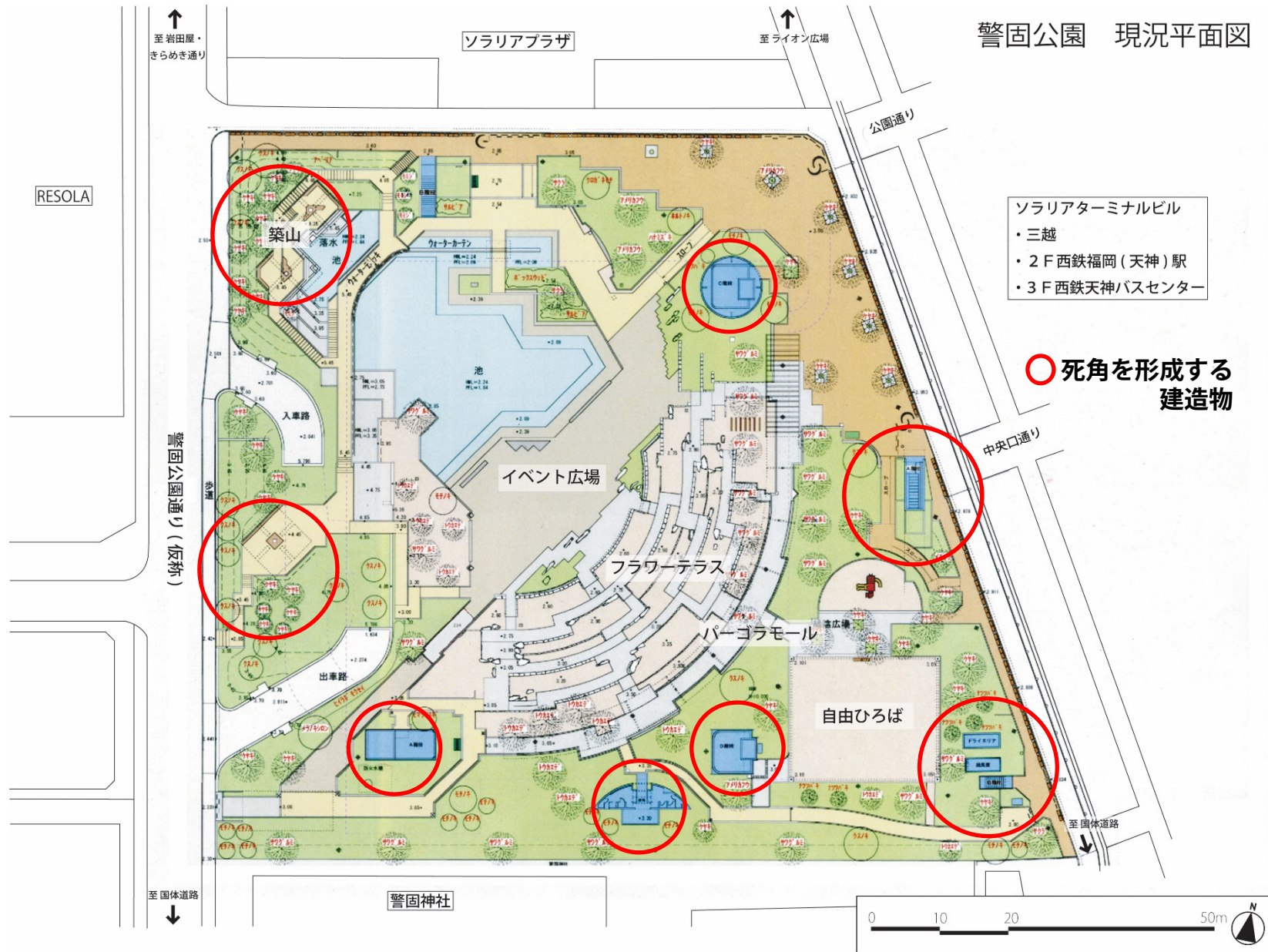


警固公園通り側通路の壁の落書き



車に連れ込む等、悪質さが問題視されていたハント族の縦列駐車

再整備に至る経緯：旧警固公園の問題点



→閉鎖的だった旧警固公園は周囲からの見通しが悪く、加えて前述した築山や警固公園通り側の通路、園内南側のトイレ周辺に多くの死角が存在し、不法薬物売買や性犯罪等発生の温床となっていた。

再整備計画において解決すべきとされた5つの課題

- ①見通しの確保
- ②公園と公園周辺の双方向に開放された動線の確保
- ③スケボーなど不適正な利用の仕方の抑制
- ④公園をセットバックし前面歩道を拡幅
- ⑤目につきやすい場所へトイレを移設

協議の様子

→公園が再整備される過程においては、関係者間による多くの検討会議や協議が実施された



→警固公園対策会議

福岡県警察生活安全部、福岡市役所みどりのまち推進部、中央区役所地域整備部、天神・大名地区住民、防犯ボランティア（ガーディアンエンジェルス福岡支部）代表、福岡大学景観まちづくり研究室他が一堂に会し、警固公園の治安対策に関わる現状の報告や再整備の方針について協議・合意形成。

平成22年7月に発足し、平成26年1月までに計13回開催された。



→高島福岡市長へのプレゼンテーション

警固公園の再整備に意欲的だった高島福岡市長を表敬訪問し、提案する公園の再整備プランの詳細を、模型ならびにパワーポイントを使って直接説明、了承を得た。



模型検討協議

→模型検討協議

再整備案の設計過程では、園内の各施設の配置、形状、周囲からの見え等を公園全体の1/100模型、細部の1/5模型等により検討・確認、関係者間のビジュアルな意識共有と合意形成が図られた。



施工現場協議

→施工現場協議

ベンチや園内舗装などの石材や表面の仕上げなど、公園デザインに関わる細部の検討はできるかぎり施工現場にて行い、見直し作業を繰り返しながら確認・調整し、最終決定していった。

公園デザインに向けた実態調査

	概要	日時	対象者
ヒアリング調査	警固公園の現状把握、警固公園再整備計画に対する要望などを抽出	2010/11/29 2011/10/14 2012/ 1/ 6	毎週金曜日の見まわり、夜間待機といった防犯活動に従事する天神二丁目町内会長 藤木氏、ガーディアン島津氏ならびに警固神社宮司 前田氏+公園利用者(192名)
昼間・夜間時の動線および利用実態調査	深夜における動線や滞留場所のプロット図の作成等を行い公園利用に対する動向や問題点等を把握	2010/10/22、23 09:00~21:00 2011/11/24 21:00~26:00 2011/11/26 21:00~26:00	警固公園利用者



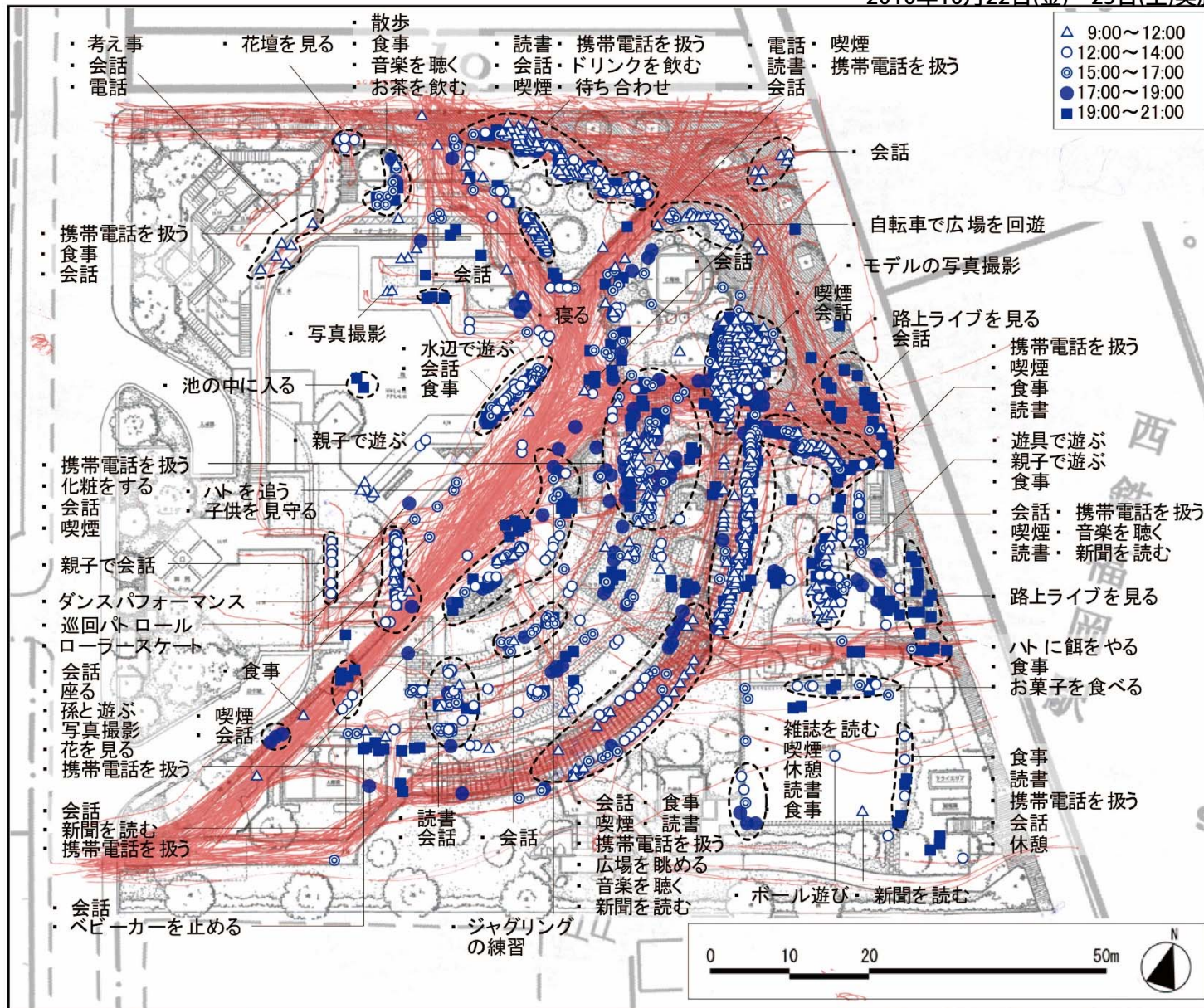
ヒアリング調査風景



動線および利用実態調査風景

動線および利用実態調査結果

2010年10月22日(金)・23日(土)実施



【旧警固公園】

→旧公園では半円状の石段エリアや中央部に多くの動線や利用が見られる一方、死角の多い公園北西部の築山周辺や公園南側通路の人通りはほとんど見られない。

デザイン案の詳細



Design concept 「防犯と景観の両立」

→公園内の見通しと動線を確保する防犯効果の向上とともに
周囲に広がる街の景観とにぎわいを警固公園の魅力として取り込む

①中央園路、中央広場設置による新たな動線と賑わいの創出

実施設計全体平面図



- 死角を形成していた築山とウォーターデッキを撤去し、新たに中央園路を設置。公園内外の見通しを良くし、園内への動線促進を企図。また通路として可視化させることで、中央広場の迷惑行為となっていたデモ隊等の集会を規制する方策に活用
- 中央園路の延長上に広がる周辺商業施設の魅力的なファサードと、人通りや賑わいの様子を公園の風景として取り込む
- 旧公園で動線が多く見られた既存園路は一部拡幅し、段差を無くすバリアフリー整備を施す等、園内全体の歩行環境を改善

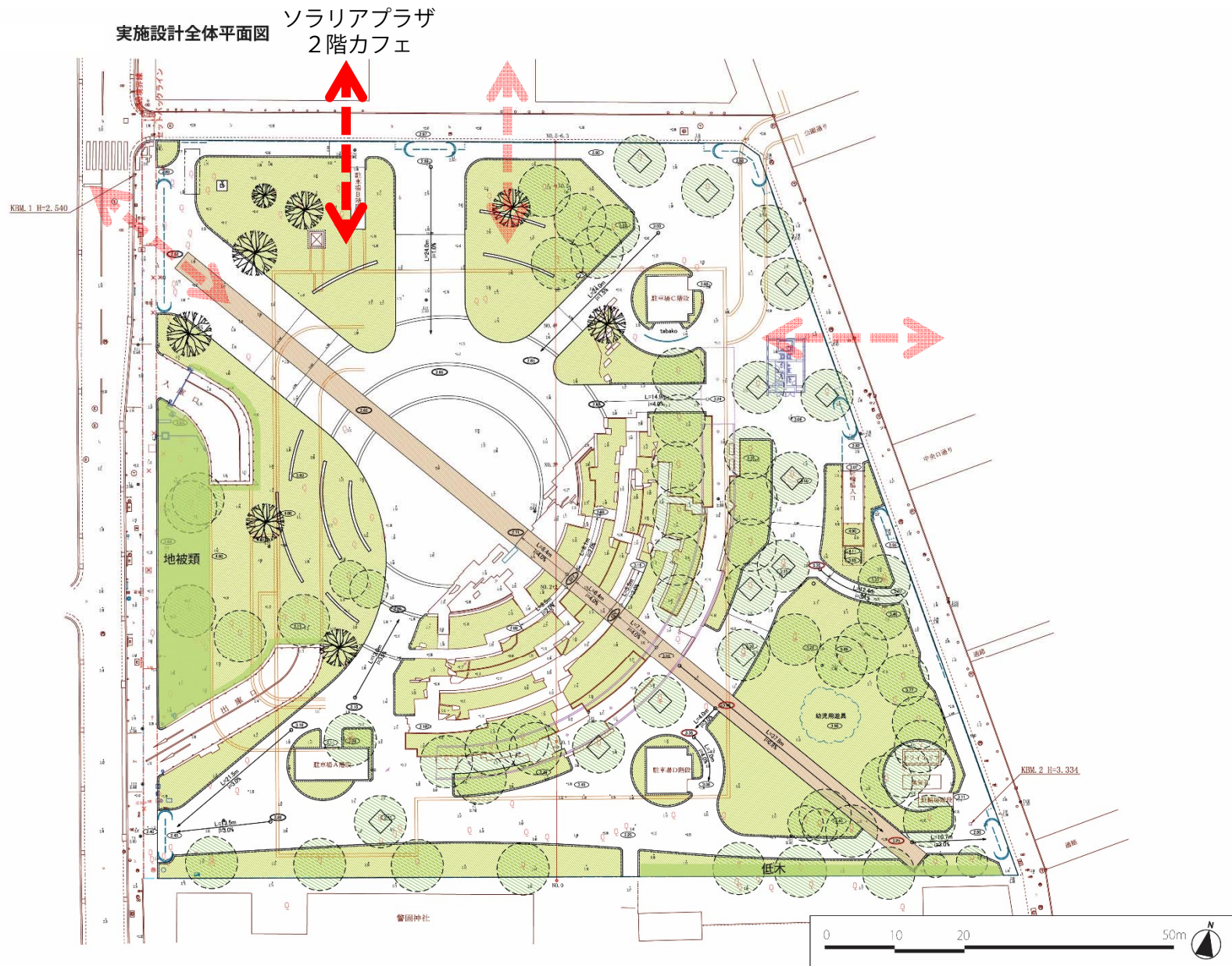


整備前



整備後

②見通し改善による周辺との視覚的つながりの創出（公園北西部）



□築山の撤去とともに新たに植える樹木の配置を工夫し、公園北西部からの見通しとともにソラリアプラザ2階のカフェから園内が見通せるようにした。



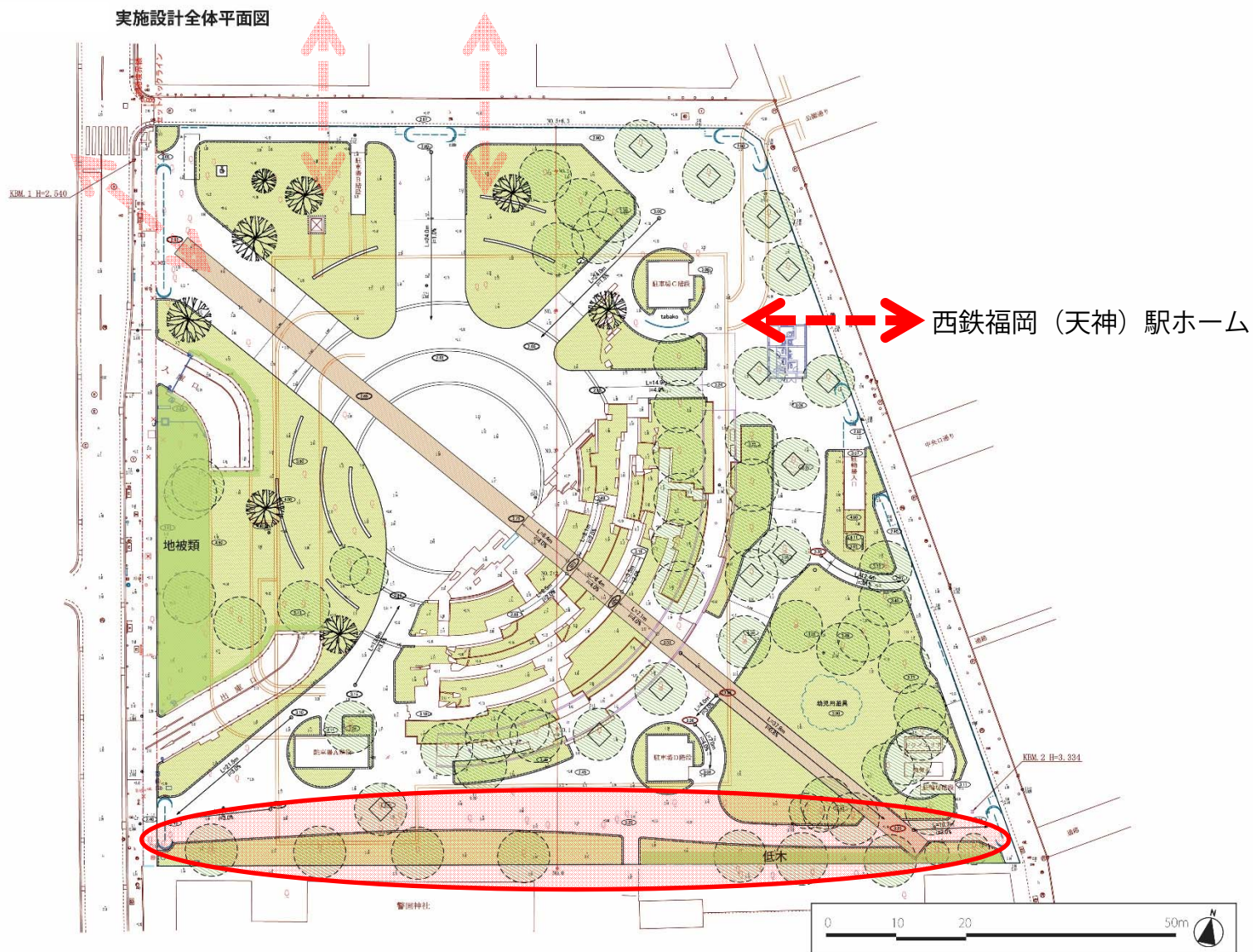
ソラリアプラザ2階カフェからの眺め

整備後



ソラリアプラザ2階カフェからの眺め

②見通し改善による周辺との視覚的つながりの創出（公園東部、南部）



- 暗がりが多く、人通りの少なかった南側園路では、老朽化し見通しを遮っていた公衆トイレを人目につきやすい公園東部の西鉄福岡（天神）駅前に移設。さらに南側園路自体の線形を直線化する修正を施し、東西につなぐ通路の見通しを改善した。
- 同時に西鉄天神駅ホームからの見通しを阻害していた樹木をトイレの移設にあわせて1本除去し、ホームから公園内の様子が眺められるようにした。
- 警固神社との境界部に二重で設置されていた柵を撤去し、神社の雰囲気に合わせてシンプルな柵を再設置した。



南側通路の様子



整備後

南側通路の様子

整備前

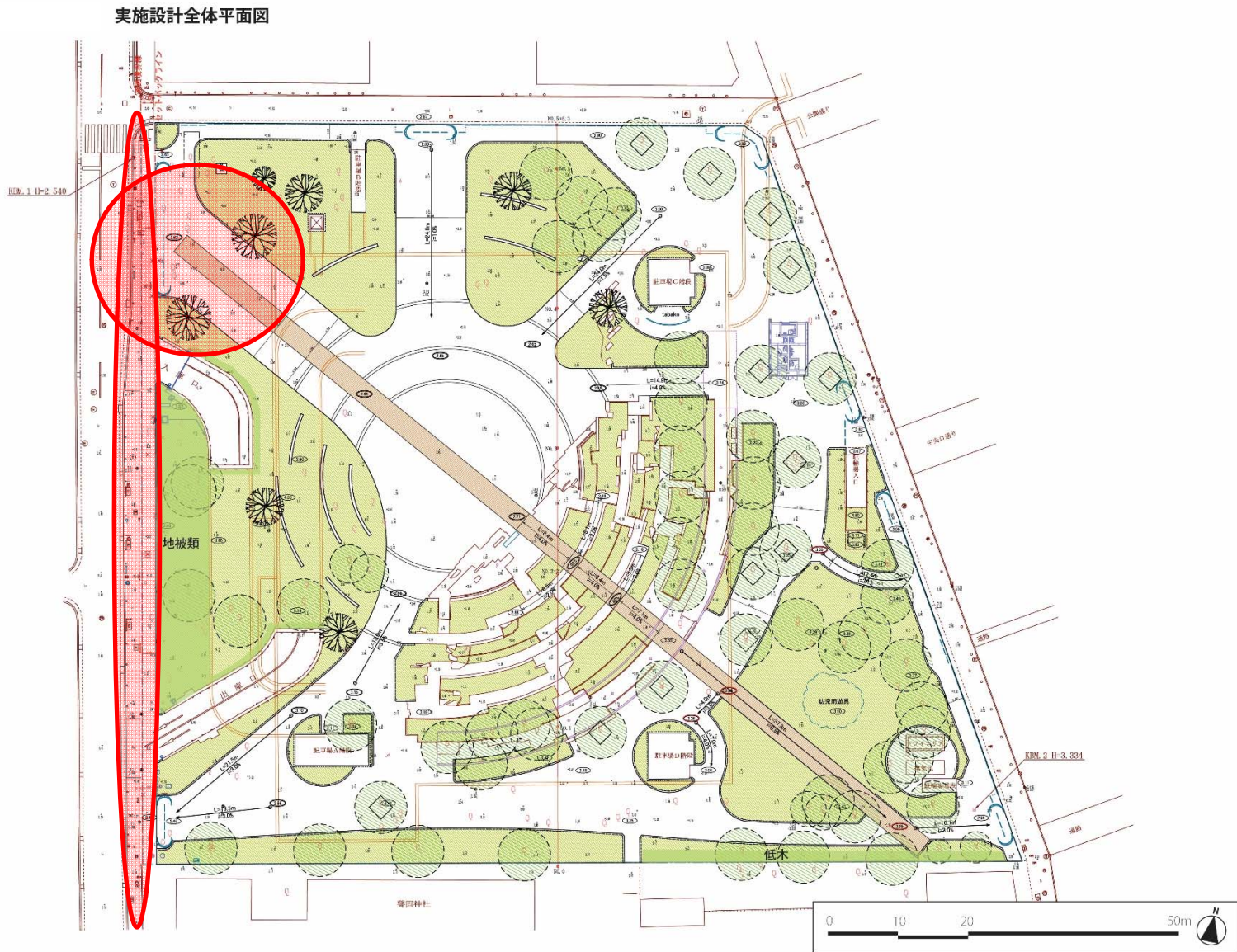


西鉄福岡（天神）駅ホームからの眺め



西鉄福岡（天神）駅ホームからの眺め

②見通し改善による周辺との視覚的つながりの創出（公園西部）



- 事件発生後、立ち入り禁止となっていた築山を撤去し、中央園路の繋がるオープンスペースとして公園出入口を改修、警固神社通りからの見通しを改善した。
- 公園東側の境界部をセットバックし、狭隘さが問題視されていた警固神社通りの歩道を拡幅した。

整備前



警固神社通りから見た旧警固公園の築山ならびに隣接する歩道



整備後

警固神社通りから見た警固公園

③緑地空間の拡充



- 見晴らしの丘や子ども広場など、新たに芝生を植えて緑地空間を拡充。子ども広場にあった遊具は緑地の中に再配置し、親子連れなどの利用者が憩える場としてリニューアル。
- 上記芝生の緑地空間内に新たに石のベンチを増設。形状は旧公園の円弧を踏まえて曲線に、さらに芝生内に入れ込むことで迷惑行為となっていたスケボー・ジャンプやピストバイクの不適切な利用を抑制。

整備前



子ども広場の様子



子ども広場の様子

→これまで見られなかった子ども達の利用が増加。近隣保育園園児の新しい散歩コースに。

④旧警固公園の記憶・愛着を継承

実施設計全体平面図



□旧警固公園の記憶、愛着を園内に留めるため、再整備前から多くの利用があった特徴的な石のベンチならびにそれらが配置された公園中央エリアは、通路の段差を無くすバリアフリー整備を施したうえで以前の形に再配置した。

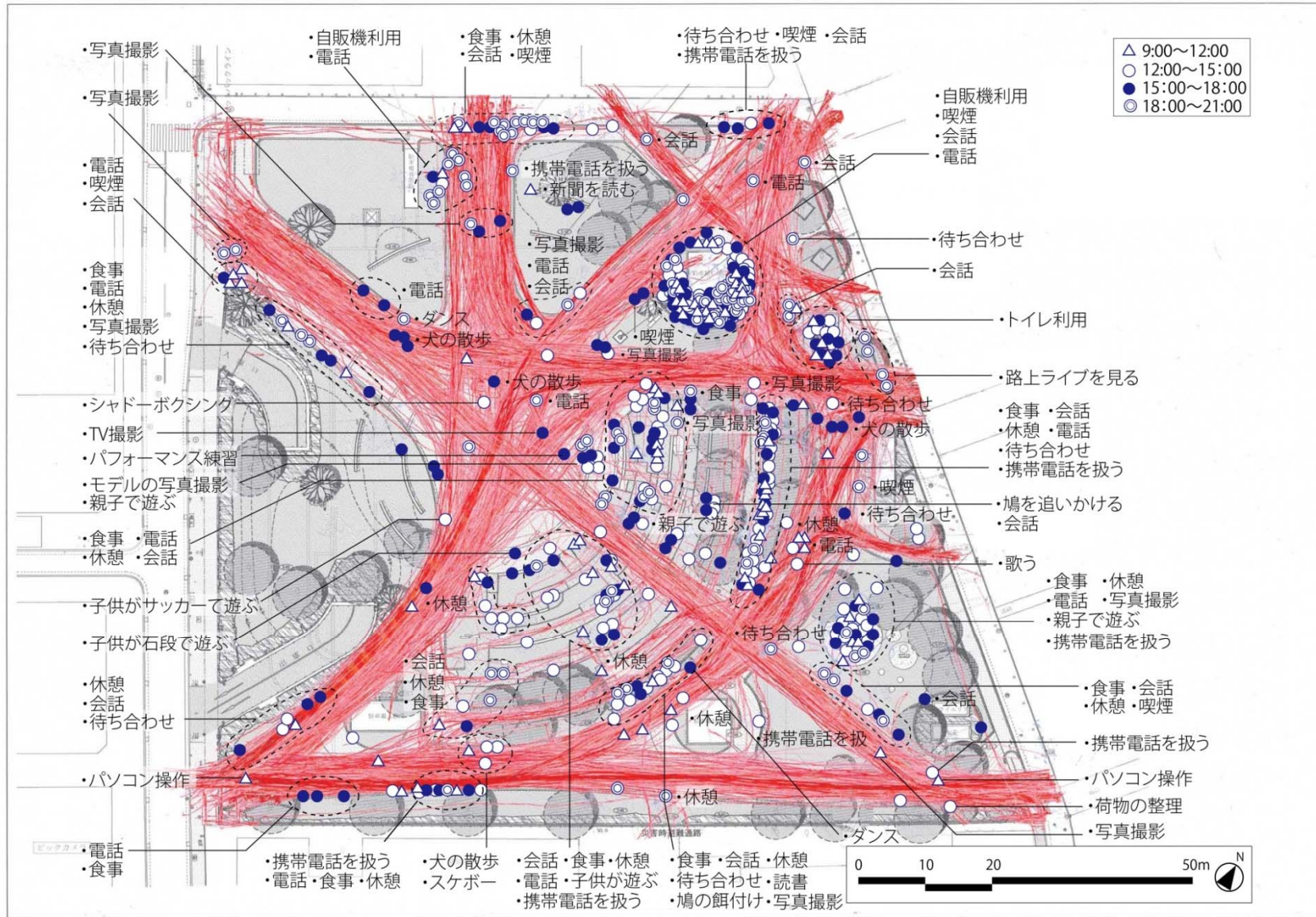




整備後

再整備後の動線および利用実態調査結果

2013年1月18日(金)・19日(土)実施

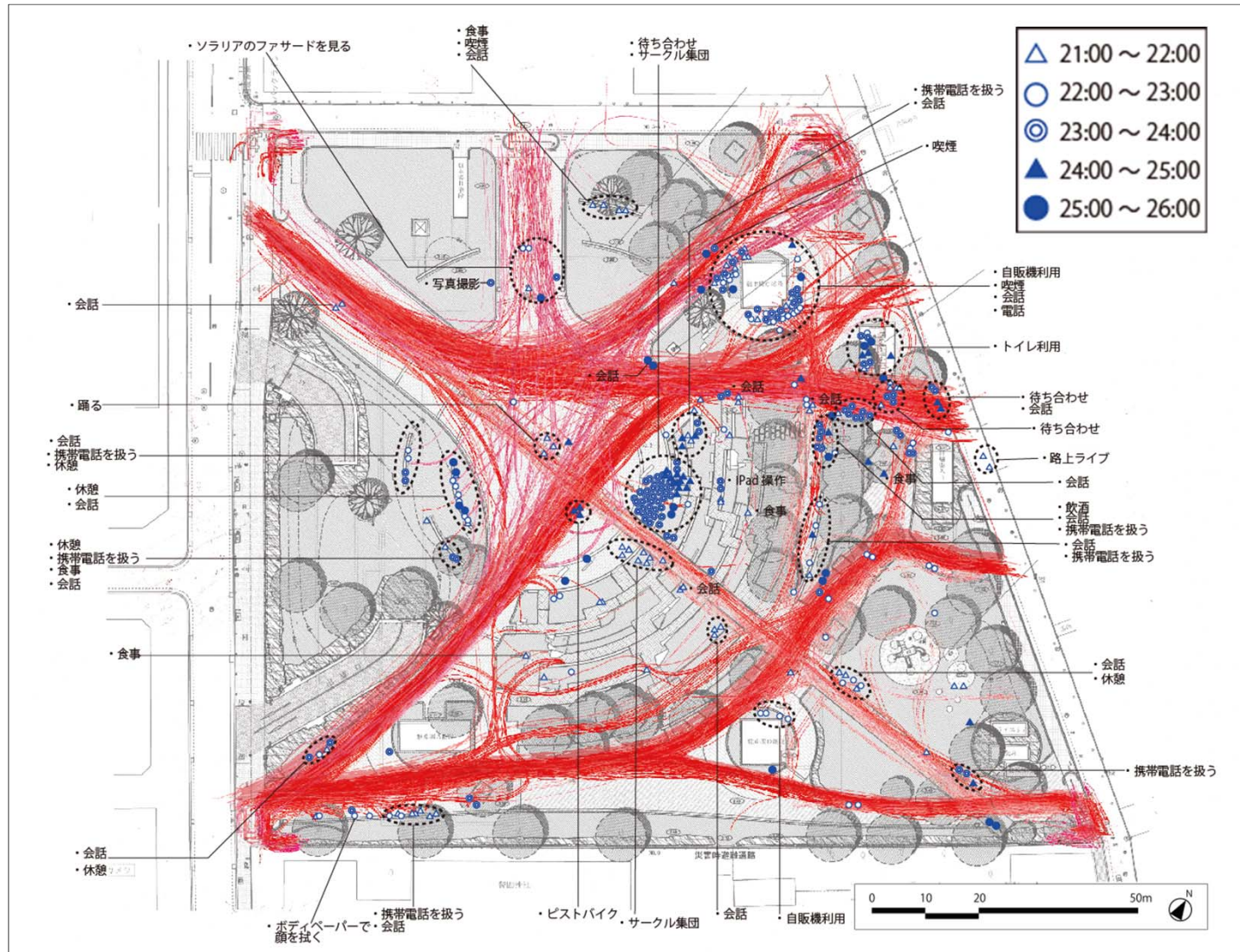


【新警固公園】

→旧警固公園の動線・利用実態調査の結果（16ページ）と比べ、再整備後は園内全体に動線の広がりが見られる。さらに新たに設置した中央園路や人通りの少なかった公園南側通路も多くの動線を確認。園内全体で多くの利用者、特に女性と子どもの増加が目立った。

再整備後の動線および利用実態調査結果（深夜帯）

2013年11月8日(金)・9日(土)実施



【新警固公園】

→別途行った深夜帯の調査結果から、深夜ほとんど人通りの見られなかった旧公園と比べ、再整備後の公園では多くの動線とその広がり確認できた。

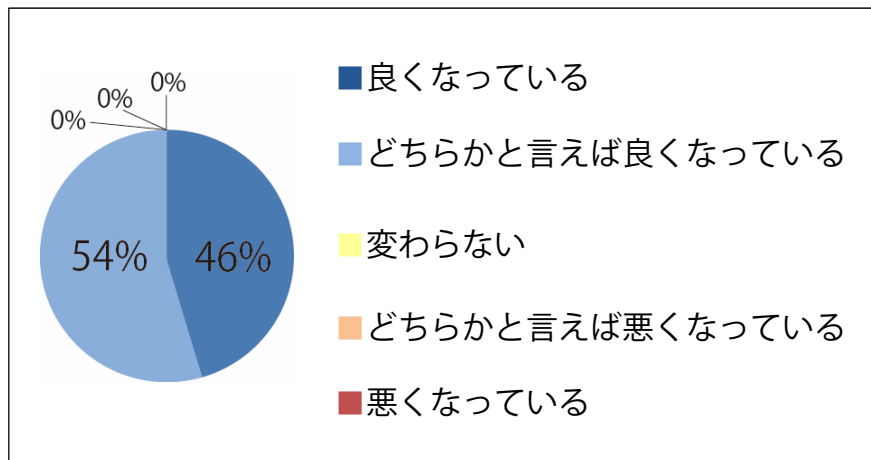
第1回目調査：再整備後の公園の印象調査（ヒアリング）の様子



→福岡大学景観まちづくり研究室は、再整備から一ヶ月後の2013年1月ならびに一年後の2013年11月の2回に渡り、警固公園の利用者に対するヒアリング調査を実施（1回目、2回目の回答者数はそれぞれ105、120）。

- 第1回目の調査では、整備前と比較した整備後の公園の印象について質問し、多くの利用者から「見通しがよくなった」「明るくなった」「安全・安心になった」「都心でこのように広々としている場所はないので良い」等の意見が得られた。
- また以前は人が少なかった「こども広場」に多くの利用者が見られ、広場で子どもを遊ばせている親からは「見通しがよくなり、安心して子どもを遊ばせられるのでよく来るようになった」といった意見も得られた。

第2回目調査：体感治安に対するアンケート調査結果（選択式）



→第2回目調査の「治安が良くなったか」との質問に対しては「良くなっている」と回答した人が全体の46%、「どちらかと言えば良くなっている」が54%、その他、選択肢として用意していた「変わらない」「悪くなっている」等の回答は皆無であった。

公園再整備による波及効果

ソラリア・プラザビルがファサードを改修
→公園の眺望を活かし、警固公園側外壁をガラス化



→警固公園の再整備から約一年後の平成25年11月29日(金)、公園に隣接するソラリアプラザが公園側の外壁を改修、リニューアルオープンした。ソラリアプラザの改修に関して、プラザを所有・管理している西日本鉄道株式会社の広報室は「平成24年度に刷新した警固公園の美しい眺望を最大限に活かすため、1階から6階までの外壁(南側エントランス)をガラスにする」と伝えた。

News Release



西日本鉄道株式会社 広報室

☎ 092-734-1217 <http://www.nishitetsu.co.jp/>

<平成 25 年 6 月 27 日>

SOLARIA PLAZA 九州ナンバーワンのファッションビルを目指して オープン以来最大のリニューアルを実施します

地下2階の店舗化・警固公園側外壁のガラス化などハード面を一新し、装い新たにオープン

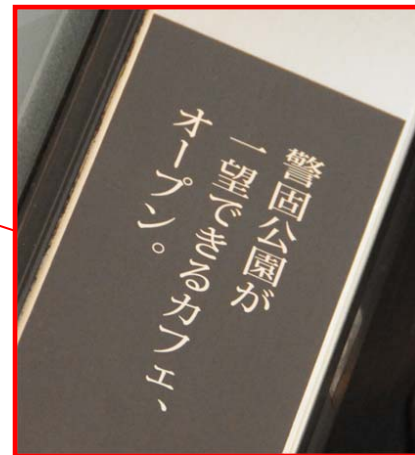
- 西日本鉄道株が運営する商業施設「ソラリアプラザ」では、約 2 年の歳月をかけ、開業以来最大のリニューアルを実施いたします。
- 「ソラリアプラザ」では、平成元年の開業後四半世紀が経過し、取り巻く環境は大きく変化しました。そのような中、昨秋からターゲット層の見直しや魅力あるテナントの誘致、動線や館内環境の整備を進めております。今回、周辺環境の変化に即した動線の見直しなど、開業以来最大規模となる改修を行います。ファッションな街・天神の中心に位置するターミナル直結の商業施設としてのポテンシャルを活かした構造とすることで、「九州ナンバーワンのファッションビル」としてふさわしい回遊性・機能性・利便性を備えた施設を目指します。
- 今回の大改修では、地下 2 階を店舗化するとともに、きらめき通り地下通路と接続させ、地下通路とソラリアプラザおよび西鉄天神大牟田線の福岡(天神)駅との結節強化を図り、利便性を高めます。地下 2 階は、毎日立ち寄りたくなるフロアとなるよう、「ちよつとした贅沢”を味わえる食物販”日々の生活を楽しむ”雑貨をラインナップいたします。
- また、施設の西側(岩田屋側)にエスカレーター棟を新設。地下 2 階から地上 2 階を繋ぎ、きらめき通り地下通路から福岡(天神)駅までのスムーズな動線を確認するとともに、回遊性を高めます。西側エスカレーター棟の新設に伴い、「ソラリア西鉄ホテル」のエントランスを一新。ロビーを 6 階へ移設し、1 階部分は店舗化いたします。
- さらに、南側エントランス(警固公園側)の外壁を改修。平成 24 年 11 月に刷新した警固公園の美しい眺望を最大限に活かすため、1 階から 6 階までの外壁をガラス張りいたします。光を存分に館内へ取り入れ、明るく開放的な空間を創り出し、訪れたお客さまに快適な気持ちでショッピングをお楽しみいただきたいと思いますと考えております。
- 中央エレベーターの改修や各階に休憩スペースを増設するほか、お客さま用トイレのリフレッシュなど、心地良い空間の創出に努めるとともに、大幅なテナントの入替・改装も行います。
- 「ソラリアプラザ」では、オープン以来過去最大の改修を行い、ファッション感度の高い商業施設へ生まれ変わることで、天神地区の活性化・魅力の向上に貢献したいと考えております。



改修後のソラリアプラザ



プラザ内のエスカレーター



→新しくオープンした公園側の店舗には、以前からあった2階のカフェに加え、プラザ内の他の珈琲店等も公園側に移転し、「**警固公園が一望できるカフェ**」として売り上げを向上させている。

ソラリアプラザ館長へのヒアリング



質問：
ソラリアプラザの外壁を改修した目的は？

館長の回答：
公園の改修をきっかけに、これまで背を向けてきた警固公園側に玄関を置きたかった

→ソラリアプラザの館長、副館長に対して直接ヒアリングを行い、改修の目的について話を伺った。館長からは「警固公園の改修をきっかけに、これまで背を向けてきた警固公園側にも玄関口を置きたかった」との回答が得られた。

同様に「外壁のデザイン検討の際、公園に隣接する商業施設という特性を活かすため外壁面に緑を取り入れ、警固公園とのデザイン的な一体化を図った」とも。

「第13回警固公園対策会議」で報告された再整備の防犯効果について

① 少年補導件数

分類	改修前 (H23.12.1~H24.11.30)	改修後 (H24.12.1~H25.11.30)	増減率
警固公園内	31	20	-35.8%

※改修前の件数は工事期間を除く約7ヶ月間の集計

天神警備交番管内の110番件数

分類	H23年中	H24年中	H25年中(H23年比増減率)
110番件数	5,018	4,783	4,576 (-8.8%)

(中央警察署調べ)

② 公園周辺に対する現状報告

- ①悪質さが問題視されていたハント族が見られなくなった
- ②警固神社宮司より「神社の参拝客が増えた」

①平成26年1月22日に中央警察署において第13回警固公園対策会議が開かれ、公園改修前後一年間の犯罪情勢について報告があった。これによると、公園内の少年補導件数は20件(-35.4%)、天神警部交番管内の110番件数も-8.8%とどちらも減少(改修前の件数は工事による立ち入り禁止期間以外の約7ヶ月のカウントであり、年間にすると増減率はよりマイナスであることが推察される)。

②さらに車に連れ込む等、悪質さが問題視されていた「ハント族」も見られなくなり、公園のリニューアルが体感治安の向上に寄与していることが報告された。

また警固公園に隣接する警固神社宮司の前田氏からは「公園の再整備後、神社の参拝客が増加した」との報告があった。



さらなる防犯効果の向上を目指し
平成25年12月24日（改修から約一年後）
天神警部交番・
警固公園安全安心センターが開所

→同センターは自主防犯、少年非行の防止や環境美化などの安全安心まちづくり活動に関する会議や打ち合わせ場所として無料で利用可。現在、前述した防犯ボランティアの待機場所にも利用され、「安全安心まちづくりの相談窓口」も開設されている（毎週月・水・金曜日10:00～16:00）。

一方、公園再整備後の現在、前述した警固公園対策会議からの引き継ぎを受け、市民も構成員である「警固公園利用推進会議」が中央区役所内に発足され、上記センターの有効利用について定期的な協議がなされている。